

日高町教育委員会主催「水泳教室」

7月2日から5日までの4日間、小学1年生を対象とした「水泳教室」がむかわ町四季の館で開催され、23名が参加しました。

4日間を通して、クラスごとに水に慣れる、水中に潜る、バタ足で進むなどの指導がなされ、最初は水に顔をつけられなかった参加者もみるみる上達し、最後には水中に潜るなど笑顔で楽しむ姿が多く見られました。



門別ことぶき学園専科「書道」バス見学

7月9日、門別ことぶき学園の専科「書道」のバス見学が開催され、専科受講者11名と専科講師1名の12名が参加しました。

このバス見学では、札幌市の小原道城書道美術館で「頼山陽と一族の書展」を、北海道立近代美術館で「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」を見学し、参加した学園生は、歴史ある作品や壮大な作品を前に感激した様子でした。



門別ことぶき学園第4回本科「見学旅行」

7月18日、日高町高齢者大学門別ことぶき学園の第4回本科「見学旅行」が開催され、学園生54名が参加しました。

見学旅行では、余市町の山本観光果樹園でさくらんぼ狩りを楽しみ、旬のさくらんぼをお腹いっぱい堪能しました。

その後は、小樽市の小樽堺町通り商店街をそれぞれが自由に散策し、充実した1日を過ごしました。



子ども体験クラブ「自然と遊ぼう！」(門別・厚賀地区)

7月20日、子ども体験クラブ「自然と遊ぼう！」が平賀地区にある「ひだまりの里」を会場に、門別・厚賀地区の小学生5名が参加し開催されました。

当日は、ひだまりの里に生きている花や草、木を観察、またそれらを使った遊びを楽しみました。

子ども達は、イタドリで作った笛を吹いたり、笹で作ったプロペラを回して遊んだほか、自分で作った笹舟を小川で流して遊びました。

いろいろな遊びをとおして、日高町の自然の素晴らしさを体験しました。



「チャイルド・プログラム」スタート！

7月22日から、日高町スポーツ少年団指導者協議会と日高町教育委員会の協働事業「チャイルド・プログラム」がスタートしました。

運動能力や運動習慣を幼少期から身に付け、運動やスポーツの楽しさを体験し「運動好き」になってもらうことを目的としたプログラムで、29名の子どもたちが参加し、夏期(10日間)、冬期(13日間)さまざまな「遊び」や「運動」を体験します。

夏期の屋外では、ケンケンパやフラフープ、新聞紙遊びなどで遊び、エストレア・サッカー少年団の指導者たちによる「コーディネーショントレーニング」や「ボール運動」が行われました。

参加した子どもたちは、元気いっぱいに運動を楽しんでいました。



アクティブプログラム「グリーン・カレッジ」「ホテル鑑賞」

7月27日、アクティブプログラムの第2回事業として、「グリーン・カレッジ」を国立日高青少年自然の家からまつキャンプ場で開催しました。

キャンプの基礎を学ぶことを目的として17名が参加し、テントの張り方、カレー作りを学び、午後からは沙流川でラフティングを体験しました。

テント張りでは、参加者同士が協力して作業する姿が見られ、6人用の大きなテントを張り終えた後は、達成感に溢れた表情でした。

また、同日の夜にはNPO法人沙流川愛クラブが主催する「ホテル鑑賞会」に参加し、一般参加者とともに貴重な体験をさせていただきました。

幻想的に光るホテルに参加者も感動した様子で、日高町の自然の豊かさを学べる機会となりました。

